

エルフ

にの二サ

淫紋

を付ける本

LEVEL:4



▶ R-18

■奥付

エルフに淫紋を付ける本 LEVEL:4

2021年12月31日発行

作者 にの子

にのこや <https://ninokoya.com/>
mail ninokoya@outlook.com

エルフの隠れ里

若き族長・シエラディーナが治める
外界から閉ざされた
エルフたちが隠れ住まう古の聖地

人間たちの手による都市開発で
地上の魔素が減少した現在、
大半が魔力を失い、居場所をなくした
エルフの最後の楽園……

あーっ♡

な…

なんで……
私の家で……

あっ♡

魔術師様♡

おちんちゃん様
嬉しいですっ…♡

仕方ないだろう
お前のとこの
族長との契約なんだ

そう……

この男と
族長が交わした
契約



——この魔術師の淫術は
もとは我らエルフの里の
宝玉の力

宝玉は、
かつて人の王より
永久の友好の証として
各地のエルフの
長たちへと贈られた

しかし…今は
そのことを知る者も
殆ど残ってはおらぬ



しかし
妾の魔法ならば
各地の宝玉の在処を
探れよう

我らエルフの里一同
お主が宝玉を得る
手助けをしようぞ

先に契約した通り、
このエルフの里を拠点とし
森の守り手シルファを
旅の伴侶に連れ立つと良い

なるほど……
では俺はお前らに
何をすればいい？



…魔素の減少により、
力を失いつつある我らエルフは
現在に至るまで、深刻な
過疎化と少子化に悩まされておる

この里には長い間
同族の男もおらぬ

さらに魔素の蓄えの少ない
エルフたちでは
そこの者の種では
孕むことはできぬ



そこで
お主には

その淫術を使い、
魔素を蓄えた精子をもって

我らエルフの里の女たちと
子を成すことを頼みたい



いいだろう

すんなり、

はあ!?

くわ、

ななな
なんで!?

あわわわわ

こんな男の
種っ:!!

シルファ:
諦めよ

そうだ もう
決まったことだぞ





そう…

族長との契約を
境にこの男は…



……
ここ数日ずっと
この調子

きょ…



い……
いいのよ…

正気に
戻った↓

ごめんなさい
シルファさん
お届け物
だったんですが
つい…



食事中ちよつと
失礼するぞ

里中で
犯りまくっている
…！

あ…
んう…

うん……っ



族長の親衛隊
ステラ…

……
……
……

道具屋の娘
セレナ…

はあ…♡
魔術師様…♡

お恵み
ください♡

淫紋が…
せつないん
ですう…♡

行く先々で

しゅごい
れすう…♡

あいつの淫行を
目撃する日々…

古代書物司書の
ソニカ…

あっ♡
あっ♡

こんなこと
はしたない
…っ♡



まあよい：
人払いは済ませた

1人：

一度目は背後から襲われ
お主のペースじゃったが

二度目は
そうはいかぬぞ
……？

お主

お主のその
淫術――

さあ…来るがよい
妾の魔術師よ…

本気の妾に
通用するか
試してみよ





コレじゃないだろ
ちゃんと言うんだ…

あぁっ…

ちんぽ…
チンポ欲しかった
のおっ…
お願いい…
もっと…

お願いい…
もっと…

すぽぽ…

すぽぽ…



ああ…

ああ…

淫乱熟女エルフ…
正直嫌いじゃ
ないぞ…

ああ…



あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…



種付け交尾の
ほうがっ

大事
だからっ

いいっ♡
長の座なんてっ…

村の秘密も
全部渡すからっ♡

わらわをお主様の
メス奴隷にしてっ…♡



自分勝手に
イキ散らかして…

エルフの里の長が
この体たらく

村の女どもに
申し訳なく
ないのかっ



それは
魅力的な提案だ…

考えとこう

ほら
イクぞ…

出るっ





族長まで
あんな……



あああ……
あ………

キミ……♡



ざわ……

男に免疫のない
女ばかりの里だから

みんな……

あの男に
毒されてる……

ざわ……♡

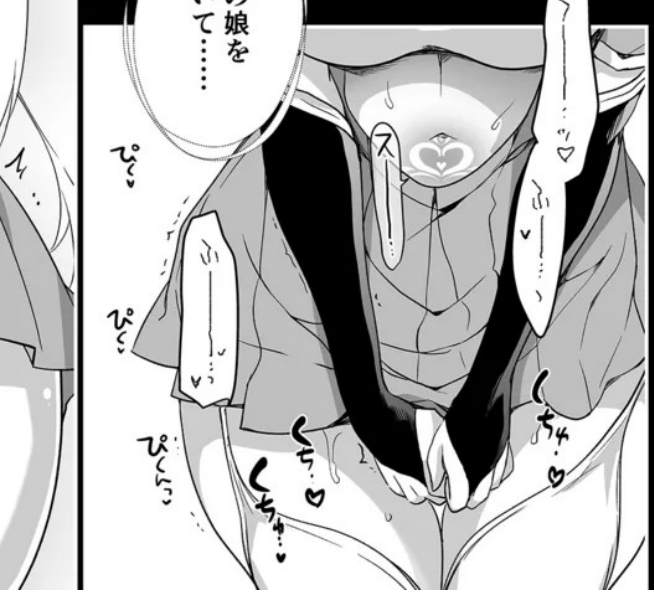
初めてのセックスと
淫紋の魔力に
ハマってしまった……

あ♡

あ♡

あ♡

※IX-ジ映像





結局……

あのまま3回は
外でイッたし……

家に帰っても治まらなくて
一日中ずっとしてしまった
……

なのに……

消えない……

ちゅーん♡♡

私の身体が
覚えちゃったんだ……

あの男の精液が
欲しいって……

数日後——

グッキリ

ツヤツヤ

さて

旅支度も済んだようだし
さっそく二つ目の宝玉の
在処を伝えよう

ほっ

やっと……
旅に出るのね
……

二つ目の宝玉は
ここから——

先代が床下収納に
使っておった
この扉の奥が……



更なる宝玉を祭る
ダンジョンへと
繋がっていった
ようだ

さらさらさら...

えっ……

近……

あーかたみは……



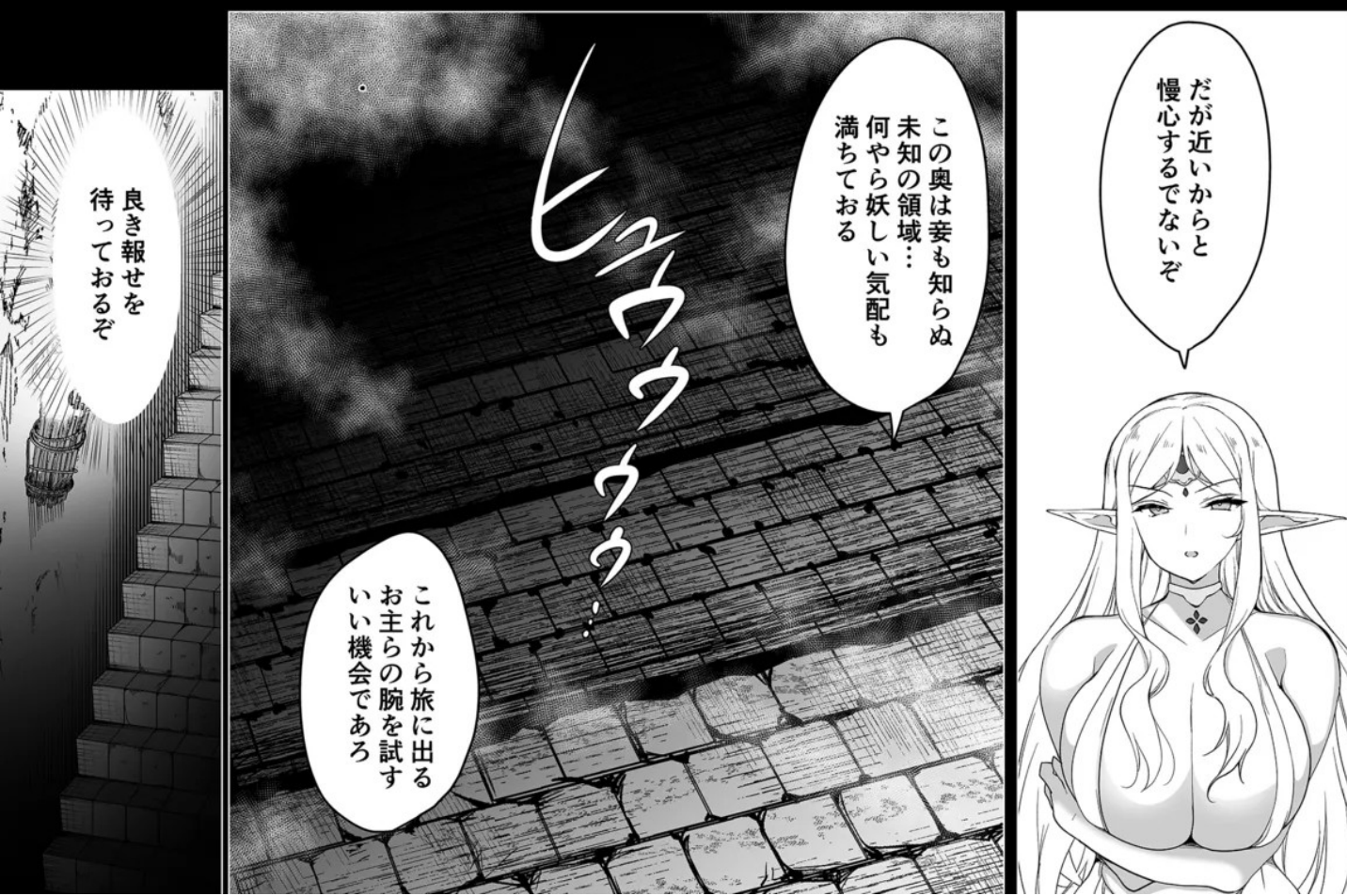
まあ長寿ゆえ
忘れっぽいエルフの
ことだからの……

妾も探してみて
驚いたわ……

別に今まで
誰も探しに
来なかったしな
……

がく……

……エルフの
秘宝なのに
……？



だが近いからと
慢心するでないぞ

この奥は妾も知らぬ
未知の領域……
何やら妖しい気配も
満ちておる

これから旅に出る
お主らの腕を試す
いい機会である

良き報せを
待っておるぞ

…薄暗いな
慎重に進むぞ

え、ええ……

久しぶりに
二人きり……
なんだか話し
にくいわね…

っッ！

っッ！

…なんでしれっと
私を先行させようと
してるのよ!!

お前、里一番の
強者なんだろう？
頼りにしてるぞ…

うぐぐ……

こういう奴だったわ！
緊張して損した！

まったくこれだから
あなたって男は……

…っ！

ッッッ！



はあ...はあ...
思ったより深いわね
このダンジョン...

やはり...フウツ...
魔物の巣窟に...
なっていたな...ハアツ

この先、
妙に狭いわね
...

—って
この道...

この縄の上を
渡れってコト!?

仕方ないな 行け
俺は絶対いかんぞ

ぐうううう...

こんなの
渡ったら...

大事なところ...
こすれちゃう
じゃない...っ

しかも...この縄
濡れてる...

ぬるぬる
して...っ

はッ...♡





あああつ...ダメ...!
おまんこ限界なのにつ♡
おっぱいまで
責められたら...ッ

淫紋出ちゃって...
我慢が...





何もなさそうに見えるが――

…この道も
何かの罠…？



……
すぐ助けてくれても
いいんじゃない…？

――渡り切ったら
違う道が出現する仕掛けか
なかなか大がかりだ



このガス……
息を止めても…

体内に――



あつ

まさか
毒ガス……!?



……ダメそうだ



これは幻術魔法……
石畳の下にスイッチが
隠されてたか

おい……
大丈夫か



ここ…私の家…?
あれ…今
家にいたんだっけ?



なんだか
ボーっとする…
今、何してたん
だっけ…?



あ…そっか
そういえば…



さっきから
ずっと…



うわっ…
なんだ!?



脱衣してる…
こいつ家かどこかと
勘違いしてるな

フル

って…

あ

はあ…



なんでこんなに
気持ちいいの
……っ♡



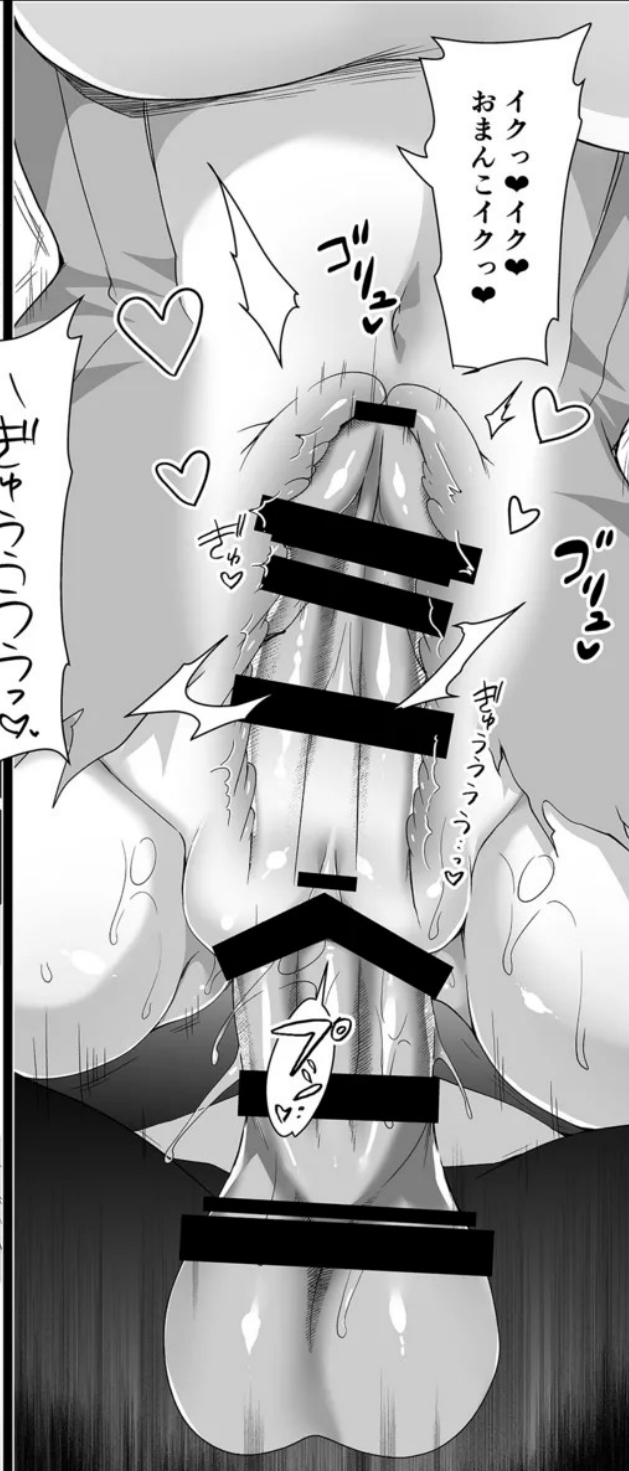
まるであの男に
犯されてるみたい
……っ



あぁ……♡
ずっと我慢してたから……



イクっ♡イクっ♡
おまんこイクっ♡



ーギョーッーギョーッー

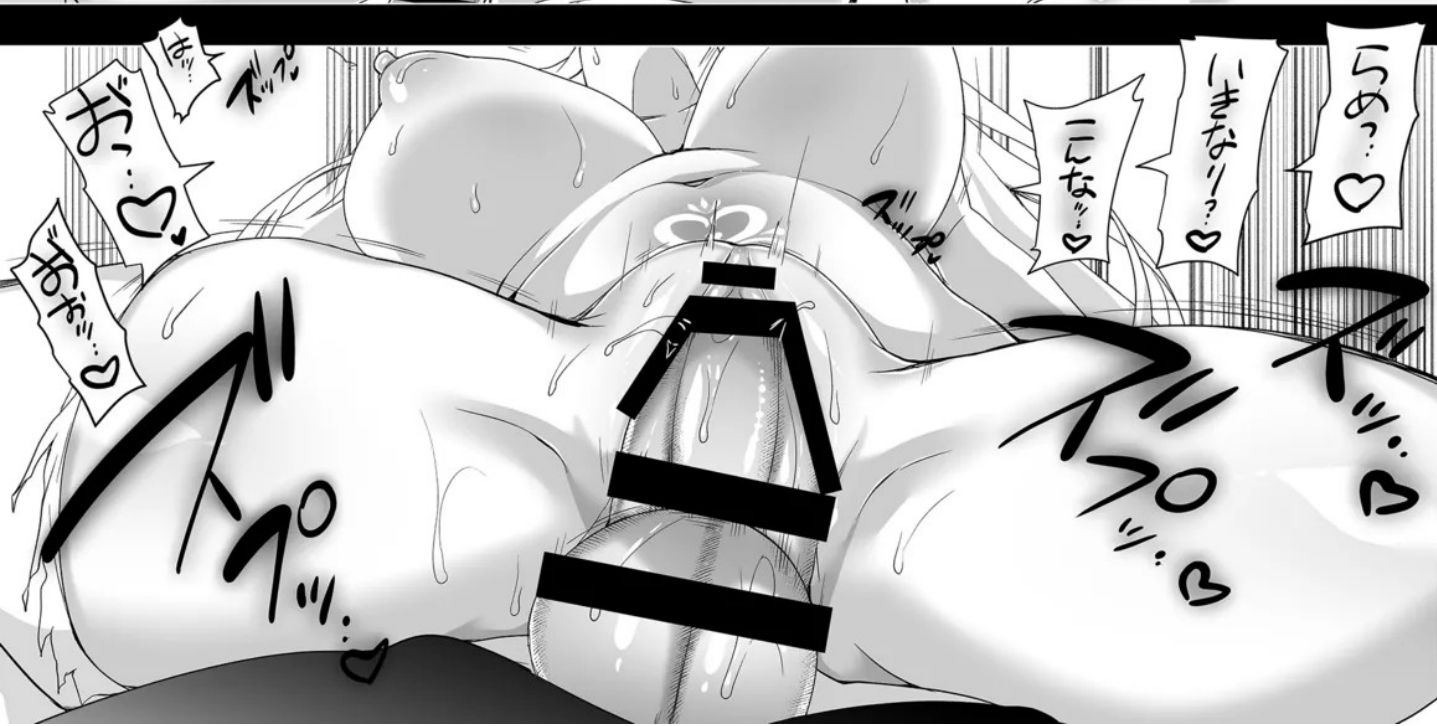
あぁ……♡
いくいくっ……
いつぐう……っ♡



















っ!?

まじっ!

おい...そっちは
どうなって...

宝玉...

この先に
あるんだけどお
.....

フリッ

フリッ

ぎゅ♡

ぎゅ♡

ぎゅ♡

フリッ

ちよつと
遠いからあ...♡

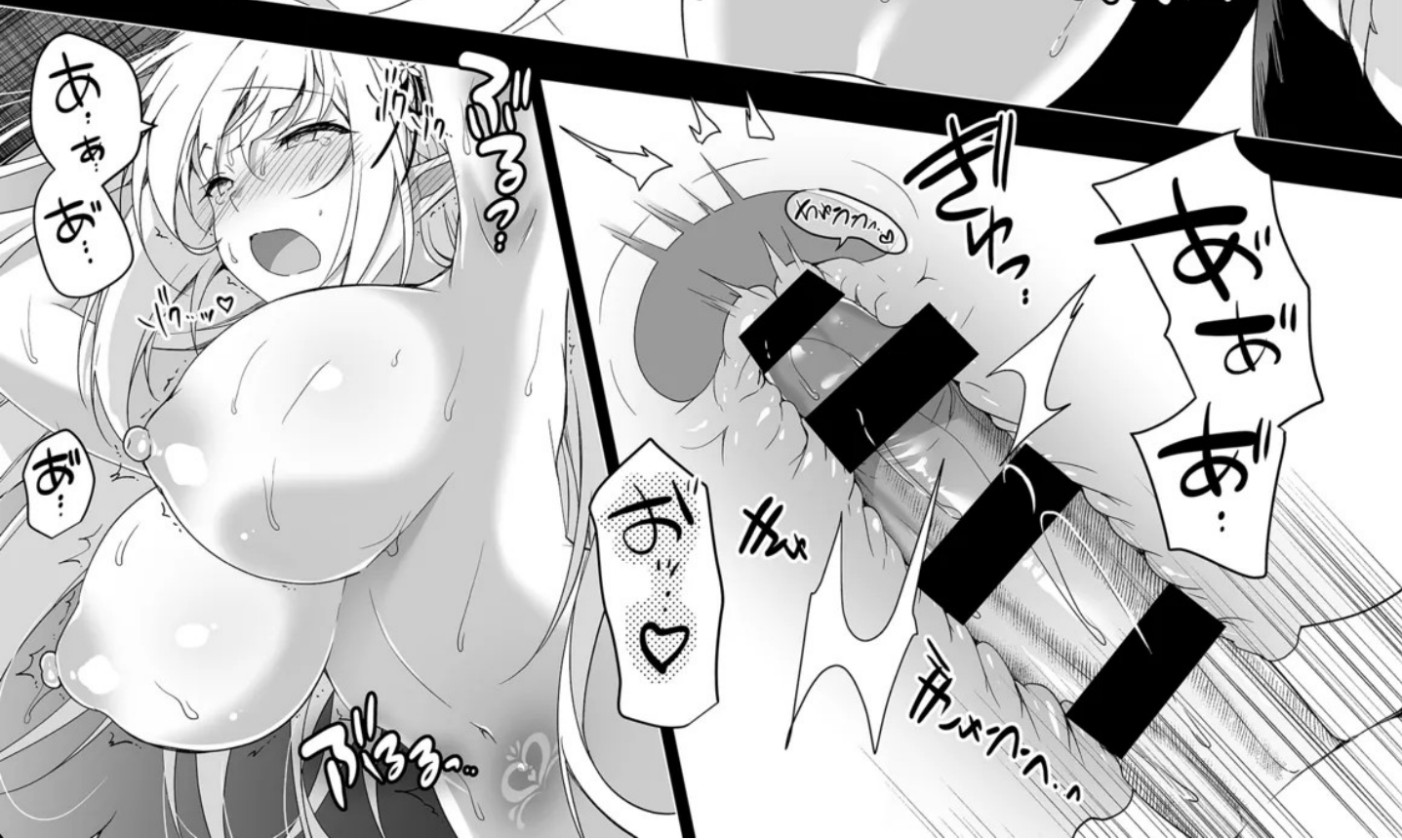
もう少しだけ

じじじ...

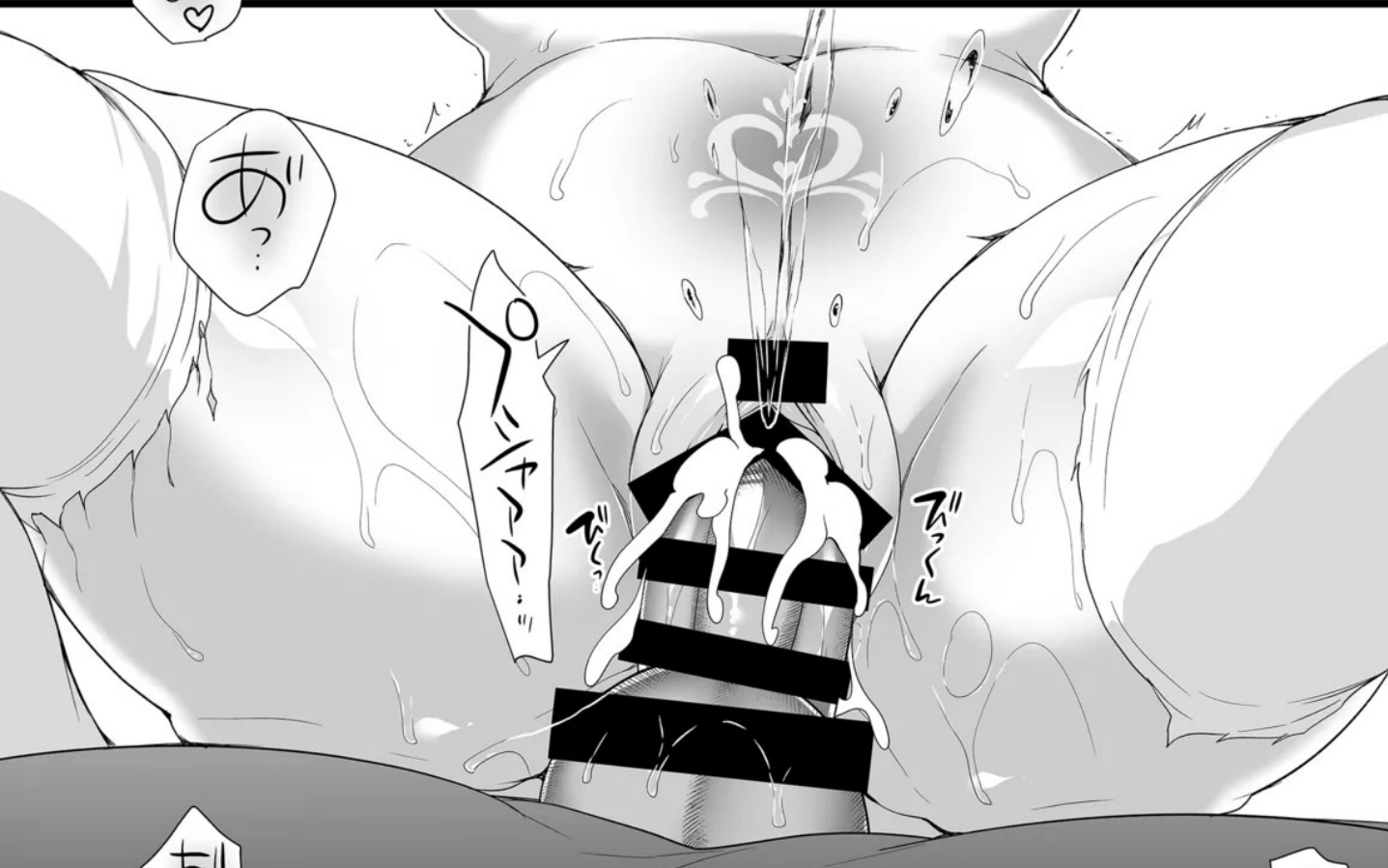
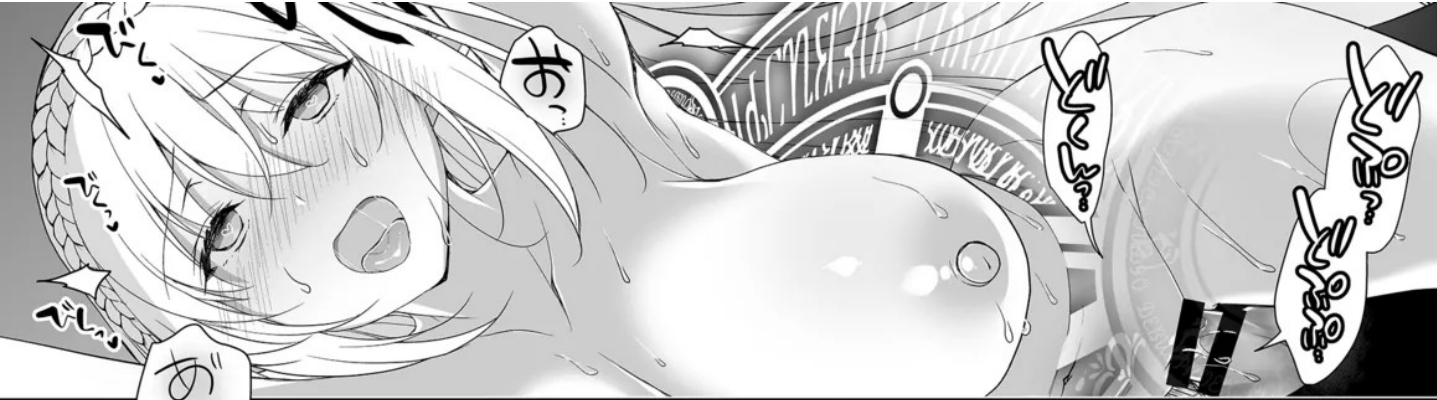












エルフに淫紋を付けてイカせまくる、オリジナルえろファンタジー！第4弾

▼story

謎の男とともに、エルフの里に戻るようになったシルファ。

淫紋の力はエルフの里の族長にも及び、
シルファは里のみんなの前で、謎の男に協力すると誓う羽目に。

里のエルフたちは淫紋の力に堕ち、男は次々と所構わず行為に及ぶ。
一人放置され、男への怒りと欲求不満を募らせるシルファだったが、
族長から『男と共に新たな宝玉を探すように』と伝えられ…

▼situation

里中の女たちと…



エルフの族長と…



お外でオナニー…♡



ダンジョンで股縄渡り!?



触手攻めで潮吹きアクメ♡



幻覚魔法で放尿…♡



and more…♡

新たな宝玉の祀られたダンジョンには、数々のエロトラップ…！

シルファは無事脱することができるのか…？